BARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology





5月14日(火)、二年生を対象とした「進路・求職意 向ヒヤリング」がスタートしました。

約二週間に渡り昼休みと放課後の時間帯に、二人の はい アドバイザーが、学生の進路の取組状況を確認しアドバイス しています。担当の成松伸行アドバイザーは「希望状況を具 体的に把握し早めの指導をしたい」、西野和幸アドバイザー は「学生の皆さんは、時期的なものもあり、しっかり考え情 報収集していると感じた」などと話されていました。ヒヤリ ングを終えた鬼沢昇吾(水戸南高卒)さんは「志望する企業 について的確な助言を頂き参考になりました」、小針向葵 (日立商高卒) さんは「迷うところもありましたが、方向性 を見出すことが出来ました」と嬉しそうに話していました。



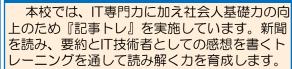


5月23日(木)の「地域経済論」は、小美玉市にある「Golf & Sports academia RISEe」代表取締役の小暮真一氏と市村 尚輝氏が来校され、学生からの課題解決発表に聞き入っていま した。「RISEe」は室内ゴルフ練習場や、PCやVRを使って eSportsが体験できるアカデミアです。学生へのテーマは「ア カデミアへの来場者をどのように増やしたらいいか」です。



学生からは、「顧客をシ<del>ニ</del> ア層に絞り、コミュニケーシ ョンの場として広める」「社 長のスコアを超えるチャレン ジや、SNSを効果的に活用す る」などの発表がありました。 小暮さんは「学生目線のア イデアを活かしたい」と話さ れていました。

# 下大野の田園地域に立つ IT短大では、指導教員も 環境整備に努めています。



茨城新聞(2024年5月8日) <記事> 「人材確保・育成に力」① 県産業戦略部長 大竹真貴さん

# ●野村未結さん(水戸二高卒)

**◇要約**:加速化する人手不足の中、本県産 業を支える人材の確保と育成に注力する。 ベンチャーフレンドリーを宣言し、県内の ベンチャーを官民一体で支援していく。も のづくり企業に対し、スピード感を持って 強力に後押しする。

◇感想:加速化する人手不足により労働力 不足が増えている。本県は高い技術力を持 っているので、ものづくり企業に対し強力 に後押ししていることを知った。本校も質 と量の両方で、デジタル人材の育成を強化 している。私も頑張りたいと思った。

# 増山直樹さん(明秀日立高卒)

◇要約:茨城県は県内の労働力不足や、中 小企業等の成長と新産業育成、ものづくり 企業の海外展開といった課題を解決するた めに支援している。

例えば、IT短大を大学校化し、デジタル 人材の育成強化により、地元企業のニーズ に応える取り組みが挙げられる。

◇感想:IT短大は茨城県から、大いに期待 されていると感じた。私はIT短大で精一杯 勉強し、デジタルを使いこなす立派な技術 者になることで地元に貢献したい。

また、IT短大の大学校化によってできる 応用課程に進学し、学びを深めたい。

# ● 土肥綺音さん (中央高卒)

◇要約:労働力不足が顕在化する中、本県 産業を支える人材の確保・育成に注力して いる。外国人材の確保のためインドの教育 機関と連携し、日本語講座などを行い、も のづくり企業の海外展開に向け、稼ぐ力の 強化につなげている。

◇感想:茨城県はインドの教育機関と連携 し、日本語講座を行い県内企業への就職支 援を行っている。また、IT短大を大学校化



し、デジタル人材の育 成にも力を入れている。 自分自身も社会に貢 献できるIT人材となれ るよう努力して



